

## 【小学校・5年・外国語・He can bake bread well.】

### 育成を目指す資質・能力

B 1（個に応じた学習）

B 2（調査活動）

山梨県の有名人についてよく知ってもらったりよく知ったりするために、その人のできることなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、伝え合ったりすることができる。

### ICT活用のポイント

【活用したソフトや機能】カメラ機能 学習支援ソフト 表計算ソフト

単元終末のパフォーマンスに向けて、1人1台端末を継続的に活用し、児童の学習改善や教師の指導改善・評価改善に生かす。

### 学習の流れ

身近な人のできることなどについてのやり取りの内容を理解する。

第三者についてより詳しく伝え合うための語句や表現を身に付ける。

自分が興味を持った山梨県の有名人について調べる。

資料を見せながら、山梨県の有名人について紹介し合う。

### 事例の概要

本題材では、山梨県の有名人について調べ、友達と紹介し合う活動を単元のゴールとして設定した。「He / She is ~.」や「He / She can ~.」といった表現や、様々な動作を表す語彙などを身に付けさせることによって、第三者について、より詳しく伝え合う単元である。

単元を通して、①調べ学習、②やり取りの撮影、③振り返りカードの記入の3点をICT活用の場面として設定し指導を進めた。

①調べ学習では、教師が事前に探したいいくつかのWebサイトを学習支援ソフトを使って児童と共有し、その中の情報から選ぶ形で行った。②やり取りの撮影では、カメラ機能を使い、撮影した動画を中間指導や記録に残す評価として活用した。③振り返りカードは、表計算ソフトで作成した枠に毎時間入力させ、児童の振り返りや教師の指導改善に生かした。

## 【小学校・5年・外国語・He can bake bread well.】

### 【事例におけるICT活用の場面①】



### 【事例におけるICT活用の場面②】



### ICT活用のポイント

#### ①調べ学習

教師が事前にピックアップしたいいくつかのWebサイトを学習ソフトで共有し、その情報の中から自分が紹介したい有名人を選ばせた。検索や画像保存にかかる時間を短縮できたことで、単元終末の言語活動に向けて、友達とやり取りをする時間を十分に確保できた。また、児童が見ているWebサイトを教師が把握できるという点でもメリットを感じた。

#### ②パフォーマンスの撮影

単元終末に、自分が紹介したい山梨県の有名人について友達と紹介し合う活動を設定し、その様子を動画で撮影した。撮影を3人1組のグループで交互に行うことで、緊張しすぎることなくパフォーマンスができ、記録に残す評価としても使うことができた。また、児童同士で動画を見ながら、相互評価を行い、何度もチャレンジできるといった点でも効果的であった。

#### ③振り返りカード

授業の最後に記入する振り返りカードを、表計算ソフトで作成し、1人1台端末に毎時間入力させた。プリントの配布や回収の時間を短縮でき、毎回のチェックや採点がしやすいため、教師の負担軽減につながった。また、手書きの時よりも記述量が増えたり、内容に深まりが見られたりする児童が多く、児童への意欲付けという視点でもよさを感じた。

小学校5年・外国語科

He can bake bread well. 「山梨県の有名人を紹介しよう」

使用機器：1人1台端末

使用アプリ：カメラ機能、学習支援ソフト、表計算ソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ① 「山梨県の有名人について伝え合おう」という単元のゴールに向けて、教師が事前に探したいくつものサイトや画像を学習支援ソフトで共有し、児童一人一人の発表時の提示資料として活用する。
- ② 単元終末の「やり取り」のパフォーマンスの様子を、3人1組のグループで撮影し合い、自己評価や相互評価、教師の記録に残す評価に活用する。
- ③ 表計算ソフトで作成した振り返りカードを活用することで、効率的に学習の振り返りをする。

1 単元名

He can bake bread well. 「山梨県の有名人を紹介しよう」

(NEW HORIZON Elementary 5 Unit4)

2 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第5学年）

聞くこと	話すこと [やり取り]
ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問に答えたりして、伝え合うことができる。

関係する領域別目標：聞くことイ、話すこと [やり取り] ウ

3 単元の目標

山梨県の有名人についてよく知ってもらったりよく知ったりするために、その人のできることなどについて、具体的な情報を聞き取ったり、伝え合ったりすることができる。また、アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。※なお、本単元における「書くこと」については目標に向けて指導は行いが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> I / You / He / She can～.Can you ～. Who is ～? This is ～.およびその関連語句などについて、理解している。 <技能> 自分や身近な人のできることなどについて、聞き取る技能を身につけている。	相手のことをよく知るために地域に住む身近な人のできることなどについて、具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るに地域に住む身近な人のできることなどについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと「やり取り」	<知識> I / You / He / She can～.Can you ～. Who is ～? This is ～.およびその関連語句などについて、理解している。 <技能> 地域に住む身近な人のできることなどについて、I / You / He / She can～.Can you ～. Who is ～? This is ～.およびその関連語句などを用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために山梨県の有名人のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。	自分のことを伝え、相手のことをよく知るために山梨県の有名人のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合おうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全7時間）

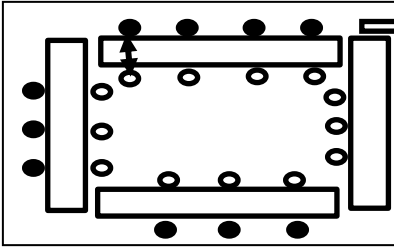
時	目標	主な活動（・） 誌面化されている活動（【 】）	主な評価観点 <聞>聞くこと <や>話すこと [やり取り]			評価方法
			知技	思判表	主	
第1時	身近な人のできることなどについてのやり取りのおおよその内容を理解する。	【Sounds and letter】 【Let's Sing】・Small talk ・Words 動作【Starting out】				目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
第2時		【Sounds and letter】 【Let's Sing】・Words 建物 【Let's watch and think】				
第3時	自分や身近な人のできる・できないことを尋ね合う。	【Sounds and letter】 【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Small talk ・Words 楽器 【Let's listen1】【Let's try2】				
第4時	“He/She” や “can” を使って紹介する表現を学習する。	【Sounds and letter】 【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Words 家族・人 【Let's listen2】 【Let's try3.4】	○ <聞>			・観察 ・ワークシート
第5時	地域の有名人について調べ、紹介する文を書く。	【Sounds and letter】 【Let's Sing】【Let's Chant】 ・Small talk ・やり取りの準備 ①デモンストレーション ②調べる③3文を書く④練習				目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。
第6時	資料を見せながら、地域の有名人について伝え合う。	【Sounds and letter】 【Let's Sing】【Let's Chant】 【Step3】		○ <聞> <や>	○ <聞> <や>	・観察 ・振り返りカード
第7時 本時		【Let's Sing】 ・Small Talk 【Step3】 ・撮影	○ <や>	○ <や>	○ <や>	・動画 ・振り返りカード

6 本時の学習

(1) 目標 山梨県の有名人についてよく知ってもらったりよく知ったりするために、その人のできることなどについて、伝え合うことができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
2 2 1	○あいさつ ○【Let's sing】 ・This is my town.を歌う。 ○めあてを確認する。	・気分や日付などについて聞く。 ・教師用デジタル教材を使って音楽を流す。	
	山梨県の有名人について伝え合おう。		
5  20	○Small Talk ・パフォーマンスにつながる表現を教師とやり取りすることを通して、学習活動の見直しをもつ。  ○【Step3】 ・ローテーションをしながら、選んだ有名人についてペアになった相手に紹介したり、質問したりする。	・Please look at this picture. This is ~. He(She) is ~. He(She) can ~.の表現を中心に、教師が紹介したい人について、児童とやり取りをする。  ICT 活用場面① ・話し手には、準備した画像を使い、相手の反応を見ながらくわしく話すことを意識させる。  ・聞き手には、Sounds good.や I see. など話の内容に応じたりアクションや、聞き返しを意識させる。	

10	 <p>外側の児童が時計回りに一つずつ回る。 ・10分ほど経ったら、外側と内側で交代する。</p> <p>&lt;予想される児童のやり取り&gt;</p> <p>S1 : Hello, ~. S1 : Please look at this picture. S1 : This is ~. S1 : He(She) is ~. He(She) can ~. S1 : Thank you.</p> <p>S2 : Hello, ~. S2 : Who is this? S2 : Who is ~? S2 : I see. / Really? / Sounds good. S2 : You're welcome.</p> <p>・ローテーショントークを終え、活動を振り返る。</p> <p>ICT活用場面②</p> <p>○やり取りの撮影 ・振り返りをもとに、やり取りのポイントについて意識しながら、3人組で有名人について伝え合う。 S1 : 聞き手 S2 : 話し手 S3 : 撮影</p> <p>ICT活用場面③</p>	<p>・児童の様子を見ながら、中間指導を行い、全体で共有する。</p> <p>言語面 ・英語で表現したいが、言い方がわからなかった表現</p> <p>内容面 ・自分の紹介したい有名人をよりわかりやすく伝える工夫をしているか。 ・相手の紹介の内容に応じて、質問したり、リアクションをしたりしているか。</p>	<p>◎本単元の言語材料を用いて、考えや気持ちなどを伝え合うことができる。(行動観察・動画)</p> <p>◎山梨県の有名人についてよく知ってもらったりよく知ったりするために、その人のできることなどについて、伝え合っている。(行動観察・動画)</p> <p>◎山梨県の有名人についてよく知ってもらったりよく知ったりするために、その人のできることなどについて、伝え合おうとしている。(行動観察・動画)</p>
5	<p>○振り返り ・1人1台端末にある表計算ソフトに、本時の振り返りと学習感想を記入する。 ○あいさつ</p>	<p>・机間巡視をしながら、記入の観点を示したり支援を行ったりする。</p>	

(3) 評価

話すこと [やり取り] のルーブリック

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	単元で学習した基本表現を使って正確に、山梨県の有名人のできることなどについて話している。	相手の反応を見ながら、山梨県の有名人について説明したり、その場に応じたリアクションを取りながら聞いたりしている。	相手の反応を見ながら、山梨県の有名人について説明したり、その場に応じたリアクションを取りながら聞いたりしようとしている。
b	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障がない程度に、山梨県の有名人のできることなどについて話している。	山梨県の有名人について説明したり、その場に応じたリアクションを取りながら聞いたりしている。	山梨県の有名人について説明したり、その場に応じたリアクションを取りながら聞いたりしようとしている。
c	「b」を満たしていない。 →改善点について振り返りシートに記入したり、個別支援を行ったりする。	「b」を満たしていない。 →改善点について振り返りシートに記入したり、個別支援を行ったりする。	「b」を満たしていない。 →改善点について振り返りシートに記入したり、個別支援を行ったりする。

## 7 ICTの効果的な活用について

### ①調べ学習

他教科で行った調べ学習等の様子から、全て最初から児童がWeb検索をすると、情報量が多く目的に応じた情報を得るまでに時間を要し、興味を持たない児童が出るのが予想された。そこで、教師が候補としてピックアップしたいくつかのURLや画像を学習支援ソフトで共有し、その中から自分が紹介したい有名人を選ばせるという方法にした。検索や画像保存の時間を短縮することで、単元終末の「山梨県の有名人について伝え合おう」という活動に向けて、繰り返し言語活動を行う時間を取ることができた。また、児童が見ているサイトやページを教師が把握できるという点もよかった。



### ②やり取りの撮影

単元終末に、自分が調べた山梨県の有名人について、友だちと伝え合う活動を設定し、その様子をグループで撮影させた。また、有名人について説明をする際には、1人1台端末に保存した画像を活用させるようにした。パフォーマンスの動画撮影は、教師の前でやり取りをさせるよりも緊張感が少ないこと、記録に残す評価として使うことができること、児童同士で動画を見ながら何度もチャレンジできるといった点で非常に効果的だった。また、3人1組を作り、1人が撮影、2人がやり取りとすることで、やり取りに集中させる環境を作ることもできた。一方で、1人で行うスピーチや発表と異なり、2人を映すために少し距離を取る必要があり、音声を拾いづらかったり雑音が入ったりしてしまうことがあった。静かな部屋での撮影やマイクの使用など、撮影をする環境を整えることも必要になると感じた。



### ③振り返りカード

毎時間、授業の最後に記入する振り返りカードを、表計算ソフトで作成し児童に打ち込ませた。教員の負担軽減の視点から、プリント配付・回収の時間を短縮する、毎回のチェックや採点がしやすいといったメリットがあった。また、手書きよりも記述量が増えたり、内容に深まりが見られたりする児童が多く、児童への意欲付けという視点でもよさを感じることができた。一方で、タイピングの技術が十分身に付いていない児童にとっては、かえって負担になってしまうことがあった。そのためタイピングについては今後も継続的に、外国語の授業以外にも、タイピングゲームなどを活用しながら練習に取り組む必要があると感じた。

